

「パネル討論会をしよう」

指導目標	<p>◎テーマについて自分の考えを明確にして、興味を持ってパネル討論に参加しようとしている。</p> <p>◎立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を述べている。</p> <p>◎異なる意見や対立する意見に対して、その根拠となる考えを理解しようとして聞き、自分の意見との関係を考えている。</p> <p>◎パネル討論の形式を利用し、お互いの考えの違いを尊重しながら、話題への考えを深める話し合いをしている。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>パネルディスカッションのテーマを誰もが利用できる公共交通とすることで、自分の考えを深め、環境面、社会貢献面からみた公共交通のメリット・デメリットを理解することができる。</p>
対象学年	5 年生
対応教科	国語
標準校時	5 コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>1. パネル討論会とは</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションの進め方を知る。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>2. パネルディスカッションのテーマを知る</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマとなる公共交通の現状を知り、利用者が減少しているのに市がバスを運営し続けている理由を考える。 ・公共交通について自分の意見をまとめる。 ・似ている考えの人が同じグループになり、パネルディスカッション用の原稿を作る。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>3. パネルディスカッションをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通必要派と不必要派に分かれ、必要なデータを用いて討論会を行う。 ・パネル討論を聞いて、考えたことを発表する。 </div>

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 パネル討論会をしよう

2 単元の目標

- ・ テーマについて自分の考えを明確にして、興味を持ってパネル討論に参加しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を述べている。(話す・聞く)
- ・ 異なる意見や対立する意見に対して、その根拠となる考えを理解しようとして聞き、自分の意見との関係を考えている。(話す・聞く)
- ・ パネル討論の形式を利用し、お互いの考えの違いを尊重しながら、話題への考えを深める話し合いをしている。(話す・聞く)

3 指導について

(1) 単元について

本単元はパネル討論という言語活動を通して、以下の三点を理解させたい。

- ①あらかじめテーマに対して自分の考えを明確にして、意見を持って話し合いに臨むことが必要であること。
- ②話し合いでは、一つの考えに収束していくのではなく、テーマに対する考えを深めていけばよいこと。
- ③話し合いの形態は話者（パネリスト）同士、話者と他（フロア）と相互方向が広がっていること
さらに、理由や具体例を添えて、意見を述べる力を身につけさせ、相手の意図を考えながら聞くことで、その良い点を取り入れたり意見を変えたりして、テーマに対する考えを深めていくことができるようにさせたいと考え、本単元を設定した。

(2) 児童について

本学級の児童は説明的活動を好む児童が多い。しかし、39名の全体がそうではなく教科によって多少の違いはあるが、発表する児童が同じである傾向がある。また、自分の意見を持つことはできても、指名されるのを待っている児童も多くいる。

児童は既に様々な話し合いの場を経験している。それは、一つの話題に対し質問や感想を自由に出し合う拡散方の話し合いや、いくつかの意見の一つにしぼる収束型の話し合いであり、形態は一对全体である。今回のように話者同士の話をフロアが聞いたり、フロアと話者が意見を交わし合う形態の話し合いは初めてである。

(3) 指導にあたって

本校の校内研究の研究主題「自ら考え、表現し、共に学び合う子供の育成」との関連をはかることとした。校内研究の視点に沿って指導の手立てを以下のように立て指導に当たることとした。

- ① 思考力・判断力・表現力を育むための指導のあり方はどのようにしたらよいか。

意見の拠り所となる客観的なデータを多く用意する。

「グラフ」「写真資料」「保護者や児童からの聞き取り」など、多くの資料を用意し、自分の意見を他の人に納得してもらうためにはどの資料をどのように使って話すと良いかを考えさせることで思考力が育まれると考える。また、自分の意見の拠り所がはっきりしているので、自信を持って、発表し、表現力が向上すると考える。

- ② 児童の交流が深まるような授業をつくるにはどのようにしたらよいか。

最後にフロアからの感想を述べる場を用意する。

聞き役であるフロアに、全ての発表を聞き終わった後に「心に残った発言」や「自分の考えがどのように変わったか」「それはだれの意見を聞いてか」などを発表させる場を設定する。こうすることで、パネラーの児童は、フロアからの評価を意識した発表をするようになり、フロアの児童も比較の観点で主観的に聞くようになり、児童の交流が深まると考える。

	学 習 内 容	留 意 点
第 1 時	<p>学習内容を知る。</p> <p>○ 教科書の「パネルディスカッションをしよう」を読み合わせ、「パネルディスカッション」の方法について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な立場の人が意見を語り合うパネルディスカッションの方法について知り、進んで取り組もうとする意欲を育てる。
第 2 時	<p>パネルディスカッションのテーマについて知る。</p> <p>(1) 公共交通機関とは何かについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、バス、地下鉄、飛行機など、運賃を支払うなどすれば誰でもが利用できる交通機関のこと。 ・ 利用した経験について振り返り、バスや地下鉄、鉄道が最も身近な公共交通機関であることに気づく。 <p>(2) 仙台市で運営している公共交通機関について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市で運営している公共交通機関には、市営バスと市営地下鉄があることを知る。 ・ 利用した経験（いつ、どんなときに）を話し合う。 ・ 市バスの総台数、一日の総乗客数、停留所の数、路線、虹の丘入り口時刻表 等 ・ 地下鉄の路線、一日の乗客数、八乙女の時刻表 等 <p>(3) 市営バスの現状について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者は増えているか？ → グラフ ・ 収入は増えているか？ → グラフ <p>(4) 市営バスの現状について考える。</p> <p>○ 乗客がだんだん減ってきているのはなぜだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車で移動する人が増えている ・ その場所の近くまでいけるけれど、その場所までは行けないから不便。 ・ 自転車やバイクが増えている。 ・ 近くにスーパーや病院ができてから移動しなくても良い。 <p>○ 利用者が減少しているのに仙台市が運営し続けている理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車を運転できない、学生や子供、お年寄りのためには必要。 ・ バスがなくなって自家用車だけになると渋滞が起きる。空気が汚れる。ガソリンをたくさん使う。 ・ バスがなくなって自家用車だけだと駐車場もたくさん必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイントを用いて公共交通機関、仙台市が運営するバス、地下鉄について知らせる。 ・ 市バスの路線図や一日の総乗客数を知ること、市民に広く利用されている「市民の足」となっていることを知る。また、遠足等で利用した経験を思い出して、バスは同じ目的地に一度に大勢を運ぶのに便利であることを知る。(自家用車との違い) ・ 市バスの利用者減少がモータリゼーションの変化が一因であることを児童なりに予想させる。 ・ バスと自家用車のメリット、デメリットについてとらえさせる。 ・ バスは、渋滞解消、環境の観点、交通弱者のためにも必要。一方では利用者が減少しているという問題もあることをとらえさせ、市バスについてと改善点についての意見を持たせるきっかけとする。

<p>第 3 時</p>	<p>(1) 仙台市営バスの現状と課題について確認する。</p> <table border="1" data-bbox="231 206 893 855"> <tr> <td data-bbox="231 206 539 855"> <p>市営バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自動車を運転できない人のために必要 ○一度に多くの人を運べる ○渋滞しにくい ○ガソリンの節約 ○排気ガスが減る。 △目的地まで直接行けない △停留所があって遅い。 </td> <td data-bbox="587 206 893 855"> <p>自家用車</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家から目的地まで直接行ける。 ○駐車場が必要 △みんなが乗るとガソリンを多く使い排気ガスもたくさん出る。 △車を運転できない人が困る。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"></p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん利用者が減っている。 ・足りない分は仙台市がお金を出している。 <p>(2) 仙台市営バスについての自分の意見を書いてみよう 仙台市に市営バスは必要だと思うか。 そう考える理由は。 必要であれば乗客を増やすためにどんな工夫が必要か。 自分の考えを原稿用紙に書く</p>	<p>市営バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自動車を運転できない人のために必要 ○一度に多くの人を運べる ○渋滞しにくい ○ガソリンの節約 ○排気ガスが減る。 △目的地まで直接行けない △停留所があって遅い。 	<p>自家用車</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家から目的地まで直接行ける。 ○駐車場が必要 △みんなが乗るとガソリンを多く使い排気ガスもたくさん出る。 △車を運転できない人が困る。 	
<p>市営バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自動車を運転できない人のために必要 ○一度に多くの人を運べる ○渋滞しにくい ○ガソリンの節約 ○排気ガスが減る。 △目的地まで直接行けない △停留所があって遅い。 	<p>自家用車</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家から目的地まで直接行ける。 ○駐車場が必要 △みんなが乗るとガソリンを多く使い排気ガスもたくさん出る。 △車を運転できない人が困る。 			
<p>第 4 時</p>	<p>(1) 似ている考えの人がグループになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 必要 交通弱者のために ② 必要 環境のために ③ 必要 渋滞解消のために ④ 必要 その他 ⑤ 不必要 <p>(2) お互いの作文を読み合う。</p> <p>(3) パネルディスカッション用の原稿を作る。 資料に根拠をおいて、聞き手を意識した原稿を書くこと</p>			

第 五 時 本 時	<p>パネルディスカッションをしよう</p> <p>(1) 司会の指示でそれぞれの立場から意見を述べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none">① 必要 交通弱者のために② 必要 環境のために③ 必要 渋滞解消のために④ 必要 その他⑤ 不必要 <p>(2) フロアがそれぞれの意見を聞いて考えたことを述べ合う。</p>	<p>学級としての結論を求めるものではない。公共交通機関において様々な視点からの見方ができるようになることがねらい。</p>
-----------------------	--	--

第2時
指導過程

学習活動	・留意点 ○資料 ※評価
<p>1 本時のめあてを確かめ、討論は自分の考えと他の人の考えを比べながら聞いたり、意見の違うグループの立場に立って、自分の意見を主張したりしながらおこなうことをとらえさせる。 (3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日のめあて パネル討論をしたり、その様子を聞いたりして、自分の考えを深めよう。</p> </div> <p>2 テーマ： 仙台市の市営バスの必要性とその理由 仙台市に市営バスは必要でしょうか。それでも必要ないでしょうか。その理由も付けて自分たちの考えを発表しましょう。 まずA班からお願いします。(20分)</p> <p>(1) A班 意見 仙台市のバスは無くても良い。 理由 税金をたくさん使う。 根拠 運賃収入の減少のグラフ、補助金額の変化のグラフ 補助金と同じ額でどんなことができるか考えた例。</p> <p>(2) B班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い。 理由 子供や老人等が利用するために必要 根拠 仙台市の人口変化と人口構成のグラフによると、これからも、仙台市の人口は増え続けるし、老人の割合が増えるから。 まとめ これからの仙台市の人口増加と老人の割合が増えることから、これからもバスが必要。</p> <p>(3) C班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い。 理由 体の不自由な人が利用するため 根拠 仙台の街に設置されている点字ブロックや音声式横断歩道、低床のバスの写真</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話すときには「相手に伝わるように自分の考えを述べること。」、聞くときには「相手の意見の良いと思うところ、納得したところ、自分の考えとは違うところを比べながら聞くこと」と具体的にめあてを持たせる。 ・ フロアにも聞く責任があることを話す。 ・ 話し合いに集中させるために教員が司会を行い、円滑に話し合いを進める。 <ul style="list-style-type: none"> ○人口増加のグラフ ○乗客数減少のグラフ ○運賃収入の減少のグラフ(昭和50年から現在までの5年単位の棒グラフ) ○補助金と同額でできることのリスト ○仙台市の人口変化のグラフ(昭和50年から現在までの5年単位の棒グラフ) ○人口構成のグラフ(昭和50年から現在までの10年単位の帯グラフ) ○ 仙台の街に設置されている点字ブロックの写真 ○ 音声式横断歩道の写真 ○ 低床のバスの写真

<p>(4) D班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い。 理由 自家用車が増えると空気が汚れるから 根拠 NOx 調査の結果の比較 バス一台と自動車 30 台分</p> <p>(5) E班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い 理由 自家用車が増えると渋滞が増えるから 根拠 朝の虹の丘団地前の交通渋滞の様子の写真 マイカー通勤している保護者への聞き取り</p> <p>(6) F班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い 理由 団地に住んでいる人たちが困るから。 根拠 市バス通勤をしている保護者の声を紹介、習い事などでバスを使っている子供の声を紹介 仙台市には多くの団地があることを紹介。 団地からのバス利用者が多いことをグラフで紹介。</p>	<p>○ 排気ガスを出して走る車の写真 ○ 市バス 1 台と乗用車 30 台の酸化窒素の比較グラフ</p> <p>○ 朝の虹の丘団地前の交通渋滞の様子の写真 ○ マイカー通勤している保護者の渋滞の大変さを語る作文</p> <p>○仙台市の地図と各団地でバスを利用している人の人口の棒グラフ。 ○バスを利用して習い事にいっている子供の声。</p>
<p>4 では、ここからパネリスト同士で質問したり、意見を述べたりしてください。</p> <p>Q A班に質問です。バスがないと、運転できない人や団地に住んでいる人は困ると思います。</p> <p>A バスを全てなくすのではなく、今よりもバスを減らすとということであれば、困ることはないと思います。</p> <p>Q これからもバスが必要だというグループに質問です。お金が赤字にならないようにするための工夫は何かありますか。</p> <p>A ・ 運賃を高くするといいと思います。 ・ もっとたくさんの方がバスを使うように働きかけるといいと思います。</p>	<p>・ 質問は事前に考えておく。また、各グループには質問を予想し、それに対する答えを考えさせておく。</p>
<p>5 ここまでの意見を整理します。</p> <p>車の運転ができない人や、団地に住んでいる人のためには市営バスはあった方が便利です。大勢の人が自家用車を使うよりもみんなでバスを利用した方が、環境にも優しいし、渋滞の問題や駐車場の混雑もおきません。しかし一方では問題もあります。運賃だけでは、運営ができず、赤字になり、仙</p>	<p>・ はじめに持っていた自分の意見が、今日パネラーの意見を聞いて、どのように変わったかを振り返らせる。</p> <p>※ 自分の立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を主張したり、相手</p>

<p>台市から補助金をもらって運営しています。</p> <p>これに対しては、運賃を高くしたり、もっとたくさんの方がバスを利用するように働きかけたりすると良いとの意見が出されました。</p> <p>また、バスそのものの台数を減らすという意見も出されました。</p> <p>5 ここまでのパネル討論を聞いて「心に残った発言、発表」「それを聞いて考えたこと」をワークシートに書きましよう。(5分)</p> <p>6 パネル討論を聞いて、考えたことを発表しましょう。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4班の意見が心に残っています。自家用車通勤が増えるところなのに空気が汚れるなんてびっくりしました。 ・ 私ははじめ市営バスにたくさんの税金が使われていると聞いて、もったいないと思いましたが、○班の意見を聞いて、バスはやっぱり必要だと思いました。 ・ ○○くんがバスを使って習いごとに行っているのを聞いて、運転できない人のためにやっぱりバスは必要なのだと改めて思いました。 	<p>の意見を理解しながら聞いたりできたか。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の観点 「感想のみ」 「提示された資料に触れた感想」 「複数を比較しての感想」 「自分の意見の振り返りを述べている」の観点で評価していく。
--	--

(3) 評価

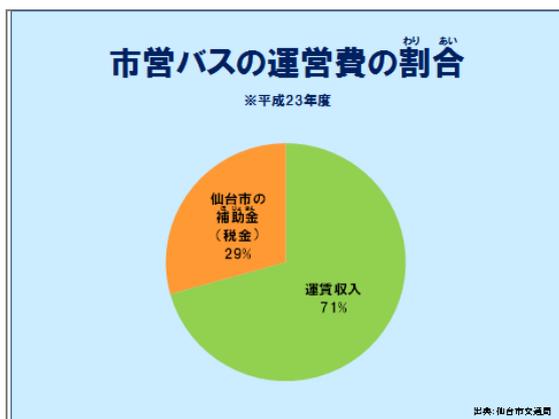
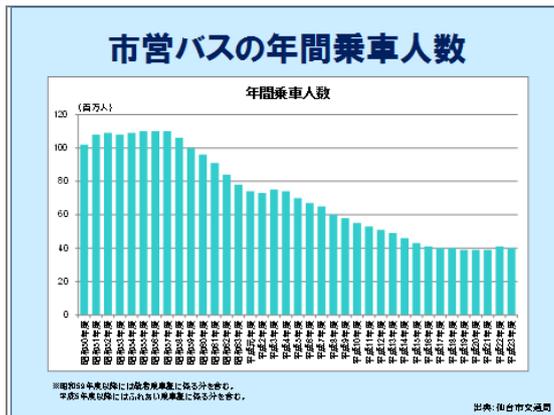
自分の立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を主張したり、相手の意見を理解しながら聞いたりできたか。(発見、ワークシート)

●本時で活用する資料

公共交通とは

公共交通

たくさんの人がいっしょに乗れる乗り物を
「公共交通」といいます



どんな人達がバスを待っているかな？

おとしより にんぎょさん 産婦生 けがをした人 身体の不自由な人

出典：エコモ財団様

みんなが自動車で移動したらどうなるかな？

市バスに関するデータ

仙台市のバスの補助金で買えるもの

- ドッジボール (2,000円) 149万個**
- サッカーゴール (15万円) 19,500個**
- グランドピアノ (152万円) 1,960台**

※平成20年度の補助金(算出：仙台市交通局)

